

スズキ、インドでバイオガス・プラント

「BANAS SUZUKI BIOGAS PLANT」の開所式を開催



スズキ株式会社（以下「スズキ」）とスズキ 100%出資のインド子会社 Suzuki R&D Center India Private Limited（以下「SRDI」）は、2025 年 12 月 6 日に、グジャラート州バナスカンタ地域アグサラに建設したバイオガス・プラント「BANAS SUZUKI BIOGAS PLANT」の開所式を開催しました。「BANAS SUZUKI BIOGAS PLANT」は、スズキとして初めて CNG 車の燃料用バイオガス（CBG）を生産・販売するバイオガス・プラントです。

スズキは SRDI を通じて、2023 年 9 月に National Dairy Development Board（全国酪農開発機構、以下「NDDB」）、乳業組合 Banas Dairy（本社：グジャラート州バナスカンタ）と契約を締結し、バイオガス・プラントの建設を進めてきました。

12 月 6 日に Banas Dairy Sanadar 工場で開催された開所式には、アミット・シャー内務大臣、9 名のインド超党派国會議員団、インド政府高官、Banas Dairy のシャンカール・チョードリー会長兼グジャラート州議会議長、スズキのインド事業本部長 鈴木浩一常務役員、バイオガス事業本部長 豊福健一朗常務役員に加え、約 25,000 人の酪農家の方々が出席しました。式典後、アミット・シャー内務大臣ほか主要な参加者は「BANAS SUZUKI BIOGAS PLANT」を訪問・視察されました。

「BANAS SUZUKI BIOGAS PLANT」では、1 日あたり最大約 100 トンの牛糞から約 1.5 トンの CBG を生産・販売する計画です。同時に、有機肥料を生産・販売します。約 1.5 トンの CBG は、CNG 車 約 850 台が 1 日に走行するために必要な燃料の量に相当します*。

*CNG 車の燃費を 33.47 km/kg（マルチスズキ製ワゴン R CNG 車のカタログ値）、1 日の走行距離は 60km と想定

●スズキ株式会社 代表取締役社長 鈴木俊宏のコメント

「スズキ初のバイオガス・プラントが稼働いたしました。インドの農村の持つ豊富な資源を有効活用することで、カーボンニュートラルで循環型の社会の実現に向け取り組んでまいります。インド酪農組合の皆様との協業は、農村の持つ大きな可能性を最大限に引き出し、地域の発展に貢献できるものと確信しています。スズキはコーポレートスローガン『By Your Side』を実践し、インドの力強い成長とともに歩みながら、本バイオガス事業を推進してまいります。」

●「BANAS SUZUKI BIOGAS PLANT」概要

所在地	グジャラート州バナスカンタ地域アグサラ
バイオガス生産量	約 1.5 トン／日
面積	約 44,000m ²

以上